

【担当教員名】 渋谷直樹	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【一般目標：G I O】

成人脳損傷者のリハビリテーションチームに専門職として参加するため、失語を中心にしてその言語治療の具体的方法を習得し、失語患者のコミュニケーションの改善に向けて行うさまざまな援助の方法を習得する。

【行動目標：S B O】

1. 失語の言語治療テクニックを列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
2. 失語の言語治療の流れを理解し、初回評価から訓練終了時までに行うべき臨床活動を述べることができる。
3. 失語の具体的症例に対して訓練計画を立案する際の要点を説明できる。
4. 失語の言語訓練材料を列挙し、その適応について説明できる。
5. 地域での言語リハビリテーションの実態について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	失語の言語治療の方法と適応（1） 刺激・促進法など	1	講義 プリント、VTR
2	失語の言語治療の方法と適応（2） 認知神経心理学的アプローチなど	1	講義 プリント、VTR
3	失語の言語治療の方法と適応（3） 実用・グループ訓練など	1	講義 プリント、VTR
4	言語治療計画の立て方	2	講義 プリント、VTR
5	言語治療の実際（症例検討）	3	講義 プリント、VTR
6	言語訓練教材の種類と開発	4	講義 プリント、VTR
7	地域リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割	5	講義 プリント、VTR

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	脳卒中後のコミュニケーション障害	竹内愛子・河内十郎編著	協同医書出版社	1995年、5600円 ISBN:4-7639-3009-5
参考書	適宜紹介する			
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席状況とレポート、期末試験により評価する	【履修上の留意点】
---------------------------------	-----------